

桜ノ宮駅(JR環状線)

大阪の誇る知の巨人たちの墓所をめぐる

南森町駅(地下鉄堺筋線・谷町線) 大阪天満宮駅(JR東西線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.111

JR桜ノ宮駅

毛馬で新淀川(明治34年(1901)に新しく掘削された淀川)から分かれ、市の中央部に入る大川(旧淀川)の河川敷に広がる毛馬桜之宮公園に隣接しています。公園は古くからの桜の名所です。

①源八渡し跡碑

大川を横断する源八橋を渡ると源八渡しの碑があります。渡しについては元禄のころの記録が残っていますが、昭和11年(1936)に架橋されて廃止されました。毛馬で生まれた俳人・与謝蕪村は「源八をわたりて梅の主かな」と詠んでいます。大川の東岸には梅の林も広がっていました。

②OAP(大阪アメニティパーク)

三菱金属の大阪製錬所跡地に、帝国ホテル、オフィス、ショッピングセンター、高層マンションを集約したウォーターフロントの大型複合開発です。

③泉布観

明治4年(1871)に造幣寮(造幣局)の応接所として建設されました。建物の周囲にベランダをめぐらすペランダ・コロニアル形式で、現存する大阪最古の洋風建築物です。設計者は英国人のトーマス・ウォートルス、国の重要文化財指定を受けています。

④龍海寺

緒方洪庵・八重の墓、中天游の墓、大村益次郎の足塚があります。緒方洪庵は、幕末に医学・蘭学の塾「適塾」を開き、福沢諭吉、橋本左内、大村益次郎などを育てました。妻・八重は千人を超える塾生の世話を引き受

け、諭吉から「おっかさんのような人」と慕われました。中天游も医学・蘭学者で、私塾「思々斎塾」を開き、日本人で初めて視覚機能の学術書を著しました。ここに緒方洪庵も学んだことがあります。大村益次郎は「適塾」の塾頭を務め、西洋兵学を学んで官軍で戊辰戦争を指揮しました。刺客に襲われて足を失い、遺言から緒方洪庵夫妻の墓の隣に足塚が建てられました。



⑤九品寺

九品寺には大阪の町人学問の開拓者・五井持軒の墓があります。五井はのちに町人学問の本拠となる懐徳堂につながる知の系譜の先駆けになる人です。

⑥寶珠院

菅原道真が左遷の際に立ち寄り、自念仏の十一面観世音菩薩や写経を納めました。そのことから天神信仰の寺でもあります。めずらしい油掛大黒天があります。

⑦天徳寺

儒者・書家の篠崎小竹の墓があります。小竹は私塾「梅花社」を継承して発展させ、門下生は1500名を超えたといわれています。

⑧善導寺

町人学者・山片蟠桃の墓があります。両替商・升屋の番頭として腕を奮った山片は、大著『夢の代』を著し、歴史、自然、経済、医学に科学的、合理的な考察を加え、江戸時代と思えない近代的な思想を展開した学者です。地動説や無神論も考察されています。出版はされませんが写本が広く読まれ、大阪の合理的精神の理論的支柱になりました。

⑨天神橋筋商店街

日本で一番長い商店街で、南北に2.6キロ、600店が集まっています。

地下鉄南森町駅

